

室戸ユネスコ世界ジオパークのシロウリガイ化石を文化財に Conservation activities for bivalve fossils by Muroto High School Students

*石谷 愁果¹、大野 美空¹、福岡 絵理¹

*Shuka Ishitani¹, Miku Ōno¹, Fukuoka Eri¹

1. 高知県立室戸高等学校

1. Muroto High School

室戸ユネスコ世界ジオパーク（高知県室戸市）の海岸で見られるシロウリガイ化石は、約1500万年前の深海底生物（二枚貝）の化石であり、室戸半島の大地が深海から隆起したことを示す証拠である。室戸の海岸の多くは国定公園に指定されているが、シロウリガイ化石そのものを保全する方策は今のところない。そこで、発表者ら（室戸高校生）は、シロウリガイ化石群を文化財として指定してもらうよう、室戸市役所に申請した。本発表では、シロウリガイ化石群の保全の意義と、文化財指定をめざす高校生の取り組みについて報告する。

キーワード：シロウリガイ化石、文化財、室戸ユネスコ世界ジオパーク

Keywords: fossil, natural monument, Muroto UNESCO Global Geopark